

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第4号 2004年1月発行

新年の挨拶

八千代市長 豊田 俊郎

新年明けましておめでとうございます。

八千代市は昭和30年代から大規模な住宅団地が相次いで造成され、現在では約18万人もの人口を有し、県内でも中堅都市として発展してきました。しかしその一方で、市内の自然環境の様子は年々変化しつつあり、便利な生活と同時に自然との共存が求められてきています。

そんな中、平成10年に自然やホタルに関心のある皆様により、ほたるの里づくり実行委員会が結成され、本市におけるグラウンドワーク方式の先駆けとして地道な活動を行っています。以前、私が参加した里の行事は、枯れた木を解体し、池に浮かべ、魚の棲家とするものでした。このように、できるだけ自然素材を無駄にしないという自然環境に対する愛着心に深く感銘致しました。また、今夏のナイトウォッチングに多くの人々が参加されホタルの飛び交う姿が見られたことは、皆様方の活動の賜物かと存じます。この先、ホタルの保護を通じて自然保護活動の輪が益々広がっていくことを願っております。私は環境保全に配慮した八千代市の都市づくりの実現に全力で努めて参りますので、今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

思いのまま

書記 栗原 孝允

私は東北は宮城県北の栗原郡と云う農家の10男坊として生を受けた栗原といいます。田舎を離れて半世紀になりましたが、なんと云っても懐かしいのが田園風景であり、子供心に記憶に残っているのが農作業に携わった事が走馬灯の如く回想される事です。(写真参照)

特に1年を通じて田圃そして小川及び屋敷にある池の柳の木等に、ホタルの乱舞する光景は忘れ

もしない思い出です。そして冬は雪景色と戯れるひと時など等、脳裏に刻み込まれております。

そんな境遇の中で育った私にとって、東京の団地での生活より、庭のある居宅を夢見て、八千代の地を選び勝田台に住む事27年余。走る事の好きな私には「自然と親しみながら走る」をモットーに、ひたすら勝田川が流れる田圃と山林に囲まれた自然を満喫しながらの走りでした。そんな生活環境の中に、ホタルの乱舞する光景との出会いがあったのであります。今考えて見ると10数年前の事でした。しかし、知らず知らずに乱舞の光景が目に残まらなくなったことが不思議なほど記憶に薄くなり、何時となく消滅してしまったのであります。

そんな中、平成10年7月ホタルを生息させようとするグループ「ほたるの里づくり実行委員会」の誕生を契機にその一員として加入し、今日に至っては名実共にホタルメイトとして会の運営に携わることとなりました。しかし残念な事に住居を酒々井町に移転した関係で、思う様な活動に参加できないのが心苦しい限りです。

こうして見ると自然環境保全の大事さが何故に大切である事か等、科学の発展もさることながら心痛の思いを隠しきれない昨今です。

これからもホタルメイトの皆さんと共に、八千代市内にホタルの乱舞を夢見て頑張りたいと思います。



(筆者は中央真ん中。バックは林に囲まれた生家)

～雨の日に 三本杉に 鐘を撞く～

昨年11月29日に久留里・笠森見学会に行ってきました。上記の迷句（車内レクリエーションでの最優秀作品です。）のとおりに、1日中あいにくの雨でしたが、無事に終えることが出来ました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

まず最初に、昨年度と同様のNPO法人久留里城山郷かずさ活性化の会（以後、NPO かずさ）を訪ねました。NPO かずさは山に囲まれた水田の一角にあり、上総掘りという伝統的技術により掘り抜かれた自噴井戸からの地下水を利用し、様々な活動を積極的に進めています。昨年度からはホタルの育成も始め、昨年7月には多くのホタルの飛翔が見られたそうです。現在もたくさんのカワニナが飼育されていました。



カワニナはカボチャが大好き？！



ぬかるみに悪戦苦闘！！

雨の中のあぜ道散策であったため、ホタルメイト同士、手を取り、助け合う場面も見られました。その他、NPO かずさでは今年7月にはオオムラサキが飛び交えるようオオムラサキの里の準備を着々と進めているそうです。今後の活躍が益々期待されます。

NPO センターで昼食をとり、バスは笠森観音へ向かいました。四方懸造という珍しい造



うわあ、きれい♡



笠森観音

りて建てられたお堂からは房総の山々を遠望でき、霧雨の中、木々も色づき、ステキでした。お堂のそばにある鐘を突くと、静かな笠森の森に大きな音が鳴り響きました。笠森観音から車で少し走ったところにある熊野清水は健康の泉として人々に親しまれ、日本の名水100選にも数えられています。この霊水のそばに建てられた熊野神社で今後のほたるの里の行く末をお願いし、旅も終盤を向かえました。

りて建てられたお堂からは房総の山々を遠望でき、霧雨の中、木々も色づき、ステキでした。

お堂のそばにある鐘を突くと、静かな笠森の森に大きな音が鳴り響きました。

笠森観音から車で少し走ったところにある熊野清水は健康の泉として人々に親しまれ、日本の名水100選にも数えられています。



鳴り響く鐘の音

参加してくれたメイトの方々からもたくさんの意見を頂きました。

～ 実行委員会の皆様はビデオやゲームを用意して下さい、お陰様で雨の見学会でも飽きることなく楽しく過ごすことができました。

赤間 握子

～ (NPO かずさは) 水辺にごみがなく、きれいな水が流れていて羨ましく思いました。

澤田 良治

～ 八千代市は今後ますます都市化が進んでいくことが予想され、今まで以上に環境保全は難しくなると思われますが、今回のような視察を通して少しでも市民レベルでの環境保全意識の向上を図ることができれば良いと思います。

辰巳 聖

～ 今回見学したほたるの里は地理的にも恵まれており、ホタルの発生に適しています。今後多少なりとも条件を満たせるよう八千代も考慮していければよいと思いました。

蛭間 保行

里のみどころ (1～3月のころ)

霜が降り、めだか池には氷が張り、辺りを歩くと
サクッ サクッと霜柱を踏む音がします。
草木も生き物たちも、春にそなえて、
寒い冬を静かに過ごしているのでしょう。
冬一色のほたるの里です。
でも、よく見ると、

ネコヤナギの柔らかな芽が出始めています。
足下のタンポポの葉は、赤くなってロゼットの形になり、
少ない太陽の光をいっぱい浴びようとしています。

2月のころには、ニホンアカガエルが、湿地に卵を産みに一番乗りでやってきます。

里から新川の方を見ると、

よく晴れた日には、冠雪の富士山と、夕焼けに美しいシルエットの富士山が見えます。
冬景色と少しだけ早い春をほたるの里で感じてみませんか… (くわはた)



夕焼けの富士山

・オオマツヨイグサ・

・ナズナ・

・タンポポ・

・ヒメジョオン・

・ゲンノショウコ・

・ブタナ・

(もり)

ホタルのマメ知識

ほたるの里の水質調査結果

平成14年12月から約1年間、里の水質調査を行いました。比較のため乳清水と里の井戸でも行いました。今後も引き続き調査を行います。

	里	乳清水	井戸
pH	7.51~9.30	7.06~8.26	7.54
水温 (°C)	6.9~27.4	13.7~18.8	16.0
電気伝導率 (ms/m)	31.8~41.6	38.6~40.7	34.1
溶存酸素量 (mg/l)	7.60~17.54	10.95~19.64	7.09

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	300円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、イベント、ほたるの里整備のたびに受け付けておりますので、ご利用ください。

原稿大募集

ほたるの里だよりに記載する原稿を募集しています。里への考え、蛍への思いなどホタルに関係する多数のご意見、お待ちしております。

ほたるの里のホームページが出来ました

次の操作に従って、アクセスしてみてください。

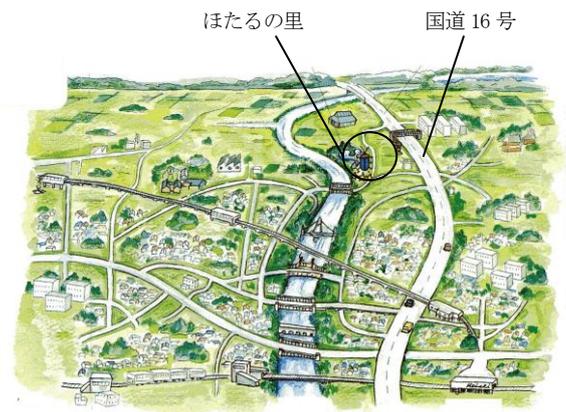
①やちよ市民活動支援サイトを開く。

<http://www.genki365.com/yachiyo>

②団体紹介・活動紹介コーナーの「団体紹介を見る」をクリックする。

③八千代市ほたるの里づくり実行委員会又はギャラリーをクリックすると里の情報が見られます。

ほたるの里への行き方



交通 東洋バス 勝田台駅発米本団地行に乗車 米本団地入口で下車
新八千代病院わきを下ると、ほたるの里です

1、2、3、4月のスケジュール

里の環境整備

日時：3月6日（土） 午前10時～正午

集合場所：ほたるの里

注意：各自、鎌や軍手の用意をお願いします。

（注）1、2、4月の草刈はお休みます。

第7回総会予定

日時：4月10日（土） 午前10時～

集合場所：ふるさとステーション

- ① 池や小川の中に入らないこと
- ② 草や虫をいじめないこと
- ③ ゴミをすてないこと
- ④ コイ、ブラックバスなどをいれないこと



【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824

【編集】

広報部会 事務局